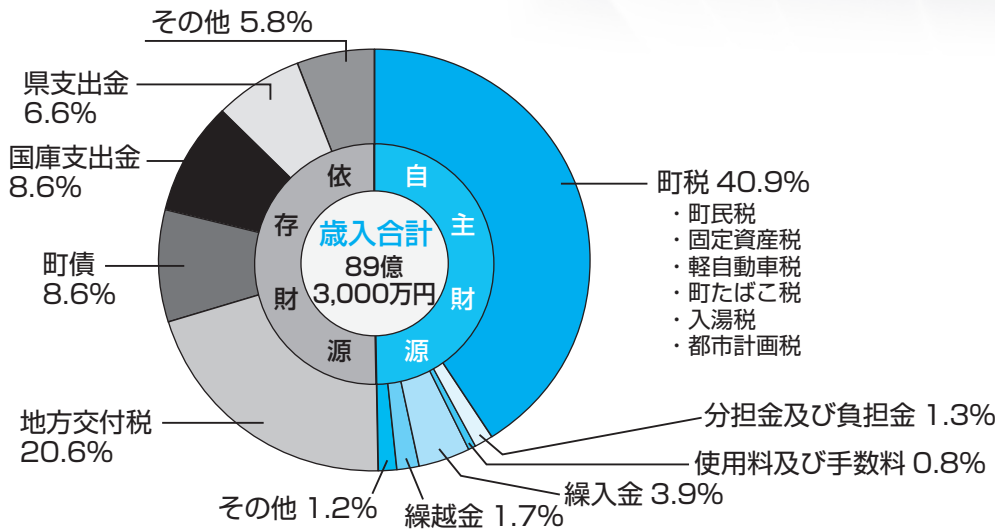


平成 25 年度 当初予算の概要

一般会計歳入



(単位:千円、%)

項目	予算額	前年度比較増減額
地方交付税	1,840,000	40,000
町債	768,900	△ 230,300
国庫支出金	765,757	△ 305,695
県支出金	586,902	38,325
その他	519,500	△ 5,500
地方消費税交付金	290,000	△ 10,000
地方譲与税	95,000	△ 7,000
地方特例交付金	18,000	△ 2,000
自動車取得税交付金	27,000	7,000
ゴルフ場利用税交付金	70,000	10,000
利子割交付金	8,000	0
株式等譲渡所得割交付金	1,000	△ 1,000
配当割交付金	5,500	△ 2,500
交通安全対策特別交付金	5,000	0

項目	予算額	前年度比較増減額
町税	3,652,474	326
町民税	1,849,481	15,878
固定資産税	1,433,733	△ 1,815
軽自動車税	57,740	1,135
町たばこ税	194,954	△ 13,252
入湯税	355	0
都市計画税	116,211	△ 1,620
分担金及び負担金	118,710	7,641
使用料及び手数料	71,104	13,251
繰入金	344,253	32,642
繰越金	150,000	0
その他	112,400	△ 25,690
財産収入	19,652	△ 5,245
寄附金	2	0
諸収入	92,746	△ 20,445

平成25年度の予算は前年度より4.6%、4億3,500万円減少しました。この減少理由は、国からの交付金確保のために、平成25年度に予定していた事業を前倒しして、平成24年度繰越事業としたことが大きな要因となっています。

町の収入は、町税など町が自ら確保することができる自主財源と、地方交付税や国・県の支出金など、ほかの財源に頼る依存財源に分けられます。依存財源のうち、地方交付税は4,000万円増加、町債は約2億3,000万円減少しています。

歳出では、土木費が平成25年度予定していた武州長瀬駅北口周辺地区整備事業の大部分を平成24年度繰越事業としたことにより約6億1,200万円、衛生費では約3,900万円それぞれ減少しました。教育費では、大類グラウンドの土地購入費や教育施設整備費等により約2億3,700万円増加しています。

用語解説

- ▼ 一般会計**
町の会計の中心となる会計で、行政運営の基本的な経費です。これに対して、特定の事業を行う特別会計があります。
- ▼ 地方交付税**
所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税の一定割合の額を、国が各地方公共団体に人口、面積、財政力などに応じて交付します。使い道は、各団体が自由に決められます。
- ▼ 町債**
町が銀行などから借りているお金です。原則として、道路や学校などの公共施設の整備資金に充てるものです。
- ▼ 国庫支出金・県支出金**
町で行う事業に対して国や県から交付されるお金です。使い道が決まっています。
- ▼ 民生費**
子どもや高齢者、障害者の福祉や医療助成などの経費です。
- ▼ 総務費**
税務事務や住民窓口、選挙などに係る経費です。
- ▼ 土木費**
道路、公園などの建設、整備、維持管理のための経費です。
- ▼ 教育費**
学校の維持管理、給食など教育全般に係る経費です。
- ▼ 衛生費**
公衆衛生、こみの収集などに係る経費です。
- ▼ 公債費**
町債の返済金です。



特別会計

町には、一般会計のほかに、4つの特別会計と企業会計である水道事業会計があります。

特別会計や企業会計は、特定の事業を行うための予算です。保険料や使用料などの特定の収入でまかなわれ、一般会計とは独立した経理会計が行われています。

国民健康保険特別会計

44 億 6,654 万円（前年度比 0.4%減額）

医療保険制度の基礎的役割を果たしています。いざというときに安心して医療を受けられるようにするために使われる予算です。

後期高齢者医療特別会計

3 億 232 万 5 千円（前年度比 5.0%増額）

高齢者が安心して医療が受けられるように制度の維持、運営に使われます。

介護保険特別会計

19 億 1,791 万 4 千円（前年度比 6.4%増額）

介護を必要とする人や介護予防が必要な人が、安心して生活を送れるように、総合的な介護サービスを行うために使われる予算です。

農業集落排水事業特別会計

2,789 万円（前年度比 0.05%増額）

農村地域の生活向上を図るために、汚水の処理を行います。現在は、主要な処理施設の建設が終了し、施設維持管理費用が中心となっています。

水道会計

【水道事業収益】水道料金など
予 算 額 / 7 億 5,803 万 6 千円
前年度比 / 0.7%の減少

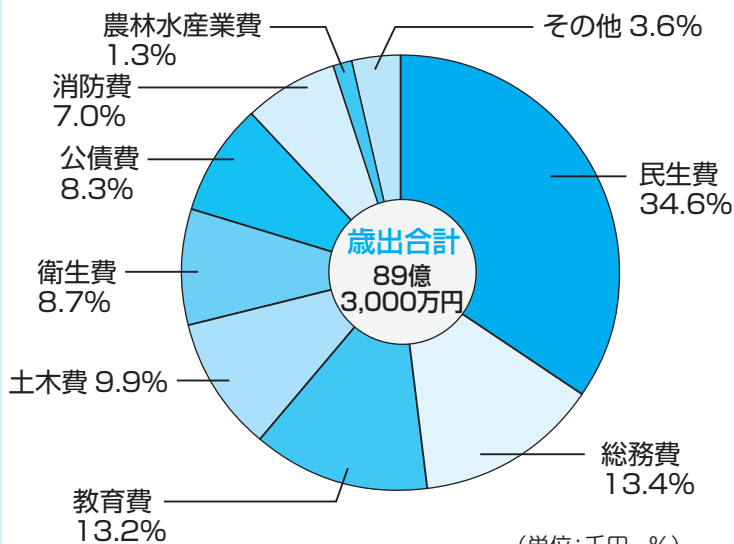
【水道事業費用】水道施設維持管理、県水受水費など
予 算 額 / 7 億 2,900 万円
前年度比 / 2.6%の減少

【資本的収入】負担金
予 算 額 / 93 万 5 千円
前年度比 / 98.5%の減少

【資本的支出】配水施設整備など
予 算 額 / 4 億 4,460 万円
前年度比 / 1.4%の減少

日常生活に欠かせない生活用水を安全供給するための予算です。とくに老朽管の布設替え、および老朽施設の改修を積極的に行います。

一般会計歳出



(単位:千円、%)

項目	予算額	前年比較増減額
民生費	3,093,062	36,675
総務費	1,200,039	10,444
教育費	1,181,849	237,748
土木費	888,036	△ 612,514
衛生費	773,897	△ 39,096
公債費	739,676	△ 20,431
消防費	624,282	4,830
農林水産業費	118,909	2,279
その他	310,250	△ 54,935
議会費	117,164	2,133
諸支出金	108,294	△ 55,327
商工費	44,754	△ 1,741
労働費	30,032	0
予備費	10,000	0
災害復旧費	6	0

町民 1 人あたりに使われるお金は

合計 25 万 1 82 円

平成 25 年 4 月 1 日現在の人口 3 万 5, 6 9 4 人で算出

民生費
86,655 円

総務費
33,620 円

教育費
33,111 円

土木費
24,879 円

衛生費
21,681 円

公債費
20,723 円

消防費
17,490 円

農林水産業費
3,331 円

その他
8,692 円

平成 25 年度に

実施する主要な事業を紹介します！

少子高齢化対策を中心とした 福祉・保健施策

【主な事業】

児童手当	5億2,371万円
介護給付費・訓練等給付費	3億9,848万9千円
民間保育所運営費委託料	3億529万2千円
こども医療費（中学校修了まで）	8,646万1千円
ひとり親家庭等医療費	739万6千円
各種健診・予防接種委託料	1億1,825万円
重度心身障害者医療費	7,070万4千円
自立支援医療給付費	4,715万1千円
療養介護医療給付費	2,280万4千円
老人福祉センター管理運営委託料	2,500万円

生活環境基盤等のインフラ整備

【主な事業】

町道整備事業	1億9,017万円
武州長瀬駅北口周辺地区整備事業	5,500万円
コミュニティ広場整備工事	1,500万円
農道・用排水路改良事業	150万円
道路台帳更新作業委託料	500万円

防災施策の充実

【主な事業】

西入間広域消防組合負担金（常備、非常備）	6億1,065万5千円
自動体外式除細動器借上料	251万6千円
自主防災組織運営費補助金	95万円

教育施策の充実

【主な事業】

学力向上支援員賃金	2,640万3千円
児童生徒支援員賃金	1,452万2千円
光山小学校消防・放送設備改修事業	3,327万8千円
川角中学校武道場改修事業	5,000万円
中学校空調設備設置工事設計業務委託料（2校）	903万円
就学援助費	2,256万円
大類グラウンド土地購入費	2億1,082万4千円

情報化施策の充実

【主な事業】

複合機使用料	1,150万円
パソコン機器等借上料	5,022万7千円
パソコンシステム機器保守委託料	2,661万1千円

